



富士章を受章したスカウト8人が静岡県庁にて県知事表敬訪問

11人の富士章受章スカウトの皆さん おめでとうございます

CONTENTS

富士章受章スカウト県知事表敬訪問	2	平成27年度 日本連盟トレーナー 研究集会が開催されました	12
富士章受章スカウトのことば	3	おめでとう29名の友情章	13
第2回 東海4県連盟合同野営大会 (2TC) プログラムが見えてきました	4	障がい児スカウティング研究集会 報告 特別支援スカウティングチーム 鈴木 均	14
いつも元気だっ!ビーバーだより	6	びっくりポンでした 県連盟プログラム委員兼県連盟副コミッショナー 池ヶ谷充寛	14
カブつうしん	7	おしらせコーナー	16
ボーイ通信	9	・県連Facebookを開設しました!	
ベンチャー通信	10		
指導者だより	11		

平成27年度 富士章受章スカウト県知事表敬訪問 3月23日(水) 静岡県庁特別会議室にて



平成27年度に富士章を受章したスカウトの県知事表敬訪問が、3月23日午後2時10分から静岡県庁内の特別会議室で行われました。受章スカウト8名と前澤理事長を始め静岡県連盟役員が出席しました。

前澤理事長の挨拶の後、川勝平太知事から「富士の文字は、立派な人(士)が富を支えているとの意味だと思う。富は、平和で安心出来る社会にはなくてはならない重要なもの。それをしっかりと作り支える立派な社会人になって欲しい。」と、お祝いと激励のことばを頂きました。

富士スカウトを代表して、三田あかねさん(三島



第5団)が「ジャンボリーで世界中のスカウト仲間と知り合い、言葉も文化も異なる人と交流出来るスカウト活動の素晴らしさを実感した。一緒に活動した仲間・指導してくれたリーダー・支えてくれた家族に感謝している。富士章受章はゴールではなく、これを励みにして社会に貢献出来るよう努力していきたい。」とあいさつしました。この後、県連連盟長でもある川勝知事から受章記念の盾をスカウト一人一人に手渡され、川勝知事・木苗教育長と全員で記念写真の撮影を行いました。

なお、平成27年度の受章スカウト11名の内、2名が3月26日に行われた東宮御所参殿に、4名が3月30日の首相官邸・文部科学省表敬訪問に全国の代表として参加しました。



平成 27 年度 富士章受章スカウトのことば

地 区	団	氏 名	受章者のことば
三 島 地 区	三 島 第 5 団	三 田 あ か ね	富士章を受章し、県知事・東宮御所への訪問などたくさんの機会に恵まれ大変嬉しく思います。これからも、楽しく活動を続けていきたいです！
志 太 地 区	大 井 川 第 3 団	田 中 洋 輔	本日は知事に富士章受章の報告ができ、大変光栄に思います。これからの活動も富士章の名に恥じぬよう活動に取り組んでいこうと思います。
清 水 地 区	清 水 第 13 団	夏 日 省 吾	私は、富士スカウトとして遠い存在ではなく、常に会えるような身近な人でありたいと感じました。そのために自分なりの努力をしたいです。
島 田 地 区	金 谷 第 1 団	鈴 木 崇 弘	私は小学生の時から富士章を目指しボーイスカウトを続け、獲得することができました。首相官邸への訪問も決まり非常に嬉しいです。
磐 田 地 区	豊 田 第 2 団	廣 若 優	今回、知事表敬訪問を通して改めて自分が受章した富士章の価値を実感した。だから、これからはこの章を胸にさらに頑張っていきたい。
浜 松 東 地 区	浜 松 第 24 団	古 澤 遼	富士章を受章し、大きな喜びと共にプレッシャーも感じた。これからはローバースカウトとして富士スカウトにふさわしい活動を行いたい。
浜 松 東 地 区	浜 松 第 24 団	持 田 雄 太	「富士章」という章はボーイスカウトの最高章であるが、これをゴールとするのではなく、その後どう活かすかを考え、世の中に貢献したい。
浜 松 東 地 区	浜 松 第 24 団	持 田 健	ボーイスカウト活動を続けて11年、ようやく富士章に到達することができました。これからは富士スカウトとしての自覚を持って活動に励みます。
島 田 地 区	島 田 第 4 団	塚 本 凜 平	欠席
富 士 宮 地 区	富 士 宮 第 5 団	石 川 正 隆	欠席
磐 田 地 区	豊 田 第 2 団	加 藤 柚 香	欠席





ものすごい大会が提供する
プログラムが見えてきました。

第2回 東海4県連盟合同野営大会 (2TC) この大会にみんなで参加しよう。

●会 期／
平成28年8月5日(金)～8月10日(水)

●会 場／
日和田高原ロッジ・キャンプ場 岐阜県高山市高根町留之原1742-1



写真は、第1回東海3県大会の様様

プログラムは、日本ジャンボリーと同様の全体・場内・場外プログラムが用意されていて、普段の隊活動では体験が難しい活動も行えます。



大会日程

	第1日目 8月5日(金)	第2日目 8月6日(土)	第3日目 8月7日(日)	第4日目 8月8日(月)	第5日目 8月9日(火)	第6日目 8月10日(水)
午前		設営	ピースプログラム 場内プログラム 場外プログラム	場内プログラム 場外プログラム	場内プログラム 場外プログラム	参加者退場
午後	参加者入場	設営	カブ・ビーバーデー 場内プログラム 場外プログラム	場内プログラム 場外プログラム	場内プログラム 場外プログラム	
夜間	設営	開会式	交流会	SCナイト	大営火 閉会式	

【全体プログラム】

ピースプログラム:スカウトによる平和祈念 ・大営火:各野営区等出し物

【場内プログラム】

コンペ・信仰プログラム・火おこしゲーム・信仰奨励ブース

●選択プログラム

スカウト技能競争(救急、丸太切り他)、測量、バームクーヘン作り、釣り 他

●オプションプログラム

森林体験、ナイフ工房、奉仕活動、電子工作、ハットホルダー作り 他

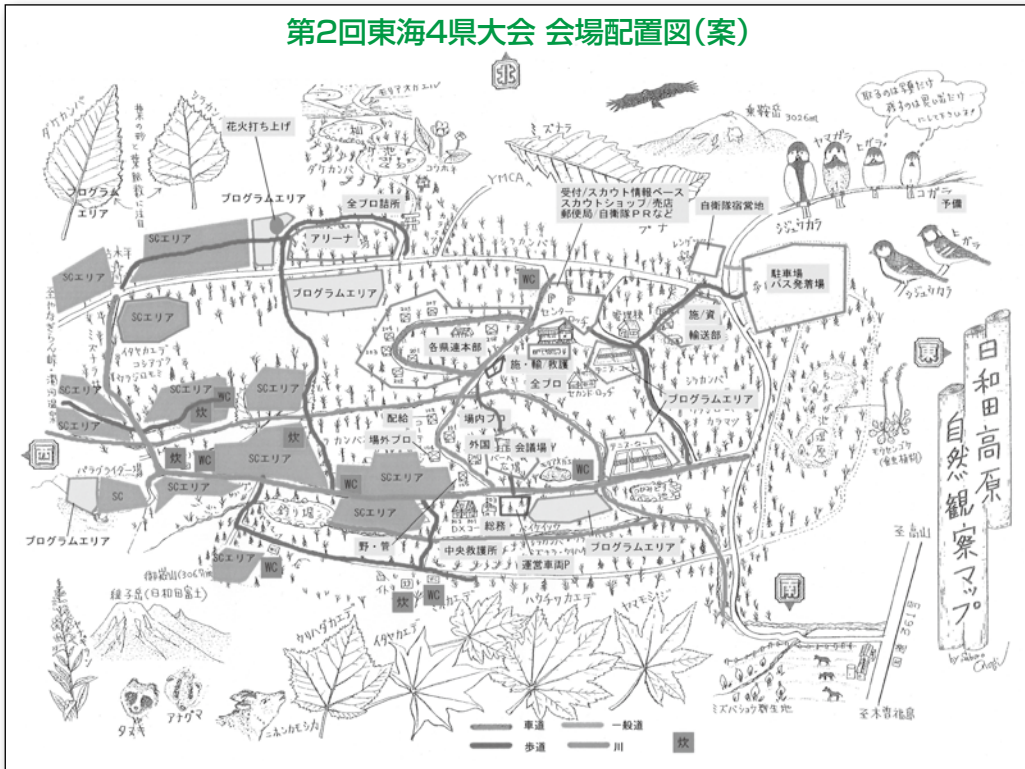
【場外プログラム】

高山市内散策、ボルダリング体験、座禅体験、宿場散策、そば工場見学、ツリー

【カブ・ビーバーデー】

スタンプラリーおよび各SCのゲーム

第2回東海4県大会 会場配置図(案)



自然環境に恵まれた場所であり、気温は街地に対し約10度以上涼しく、活動しやすく、よく寝ることもできることから、前回大会でもナタ等による怪我が全く起こらないスカウト活動を行う上で最適な場所です。

写真は、第1回東海3県大会の様様



・通常の隊集会の活動の場として2TC大会(日和田高原)を利用することをお考えください。従って、参加資格はありません。原隊の班構成のまま参加ください。

・参加申込締切は、4月28日(木)までに県連事務局になります。



いつも元気だっ! ビーバーだより

いもほり

伊東地区 伊東第5団 ビーバー隊 大坂 謙心

まい年たのしみにしていたいもほりを今年もやりました。いもをほってみると大きいのが小さいのがたくさんとれました。

今年もたくさんとれてよかったです。

みんなでいっしょにいものてんぷらやおみそしるにいれてたべました。

とてもおいしかったです。

らいねんもたくさんとればいいなあとおもいます。



はじめてのいちごがり

浜北・天竜地区 天竜第1団 ビーバー隊 徳井大地

ビーバーでいちごがりに行きました。ぼくは、はじめてだったので前日からとても楽しみでした。ぼくは、いちごが大スキです。家では弟の分も食べてしまいます。だから、食べほうだいと聞いて早く行きたいと思いました。いちごハウスに入るとたくさんのいちごがありました。隊長が「しゃがんでごらん」と言ったので、しゃがむと目の前がいちごの世界になりました。みんなで「ヘビー級」と言いながら大きいいちごの見せあいをしました。どのいちごもあまくておいしかったです。また行きたいです。



さいまつたすけあいぼ金

浜松東地区 浜松第11団 ビーバー隊 渭原 悠

きよねんの12月20日(日)のかつどうで、はままつえきまえで、さいまつたすけあいぼ金をしたり、クリスマス会をしたりしました。ぼ金はみんなで大きなこえでよびかけをしました。あつまったお金、めぐまれない人たちのやくに立つといいとおもいます。また、クリスマス会では、クリスマスのかざりをつくってしゃしんをとりました。

2月にはスキーくんれんがあります。スキーははじめてなので、がんばってすべれるようになりたいです。



たのしかったやきいも

浜松東地区 浜松第24団 ビーバー隊 今原 徳馬

カブたいといっしょにやきいもをしました。

おにいさんおねいさんがなたくんれんをしているあいだにぼくたちは、おおたやまをたんけんしました。かわったかたちのきのこをみつけたました。もどってきたらおいもをしんぶんしやアルミホイルにまきました。

おいもをやいているあいだカルタをしました。やきいもはほくほくであまかったです。そしたらおにができたのでまめをぶつけました。まめまきでおかしをたくさんひろいました。とてもたのしかったです。



B・P 祭たのしかったね

浜松地区 浜松第 30 団 ビーバー隊 高橋 咲稀

わたしは、はままつだい30団のビッグビーバーです。2月のB・P祭でハイキングをしました。カブ隊やボーイ隊のみんなと班になり、地図を見ながら長官に大事な手紙を渡さなければいけません。ロープのゲームが一番楽しかったです。お水が入った重いペットボトルにロープをまいて、みんなでひっぱって運ぶゲームでした。ボーイ隊はロープをむすぶのが上手でした。みんなで力をあわせて、いろんなゲームをクリアしました。今までよりもっとみんなと仲良くなれて、うれしかったし楽しかったです。



ナイトハイク

清水地区 清水第7団 カブ隊 栗田 莉駆

10月31日から翌日にかけて、ボーイスカウト清水第7団はナイトハイクに出かけました。ルートは清水の大曲から三保半島に行き、また大曲まで戻るというもの。ぼくはもう5回目です。カブスカウトは27kmを歩きます。

三保海岸に入ると、暗くて、ずっと同じけしきでした。波の音が気持ちよかったです。それから灯台のところに行きまし



た。三保を守る父みたいでした。

そのあともたくさん歩いてがんばったけど足が限界だったので、リタイアしました。みんなもとてもつかれていました。

ナイトハイクに参加して精神的にもきたえられたと思うので、これからもがんばりたいです。

月光天文台での一泊舎営

沼駿地区 沼津第1団 カブ隊 山本 彩花



10月11日・12日に、かなみにある月光天文台でキャンプをしました。カブスカウトになって2回目のキャンプです。そこでミニハイキングをした後に、小刀でえん筆けずりをしました。親指をそえてしんちょうにけずるのがむずかしかったです。次に果物ナイフでりんごの皮むきをしました。はじめてだったけれど、上手に出来ました。たくさん皮むきの練習をして、今度は「うさぎ」に仕上げたいです。夜は曇っていて星を見ることは出来なかったけれど、次の日に大きなぼうえんきょうで金星を見せられました。昼間の金星が見れました。昼間の金星はお月様のように三日月の形をしていて白かったです。皆で作った朝食もおいしかったです。今度は星がたくさん見える時にテントをはってキャンプをしたいです。



箱根にキャンプしに行きました。

キャンプ

富士地区 富士第 4 団カブ隊 山本 桜輔

ぼくは、箱根にキャンプしに行きました。ロープむすびをおぼえたり、秋の物で家門を作りました。

調べ物で秋の歌を発表しました。ほかの人たちも歌を歌ってくれてうれしかったです。

木のえだに色えんぴつのはしをはめてもらった物をけずって色えんぴつを作りました。うれしかったです。

自分が考えたロープむすびが人気でうれしかったです。

夜ねる時に、みんなであそんで、たのしくてねむれませんでした。2だんベッドで空中ブランコをロープで作ったけど、あぶないのでやめさせられました。

自分がいちばんたのしかったのは、夜ねるときにあそんだことです。まくらなげやブランコなどがおもしろかったです。3だんベットがあったけど使えなくてざんねんです。

思い出深い隊集会

富士地区 富士第 4 団カブ隊 中村 史弥

11月の隊集会で箱根の里へ一泊二日で行きました。

1日目、追跡ハイクをしました。追跡サインを見つけにくく大変でした。その夜、おたまに火のついたロウソクをのせてリレーをしました。消さないようにぼうしで風よけをしました。どの組も同じようにやっていました。だけど折り返しの時は後ろから風がふいていたので時々火がけされてしまい大変でした。



2日目、落ち葉や木の実を拾って、それを紙の上で動物の絵を作りました。1組と2組は、うさぎでぼくたち3組は、しかをつくりました。ぼくは集めることに集中していました。どの組も持ちようのある物が完成しました。

この二日間とても楽しく過ごせて良かったです。ぼくは来年ボーイ隊に上進するのでカブのみんなともあと少しになってしまいます。できるだけ多くの思い出を作っていきたいです。

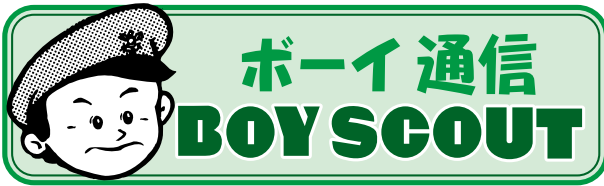
秋の一泊舎営

富士地区 富士第 4 団カブ隊 田中 千楓

私は11月の隊集会で三島市立箱根の里へ行きました。1日目は、追跡ハイクで秋の自然を感じました。むずかしい記号をさがしながら歩いて大変でした。最後にかれ葉などで動物を作って組ごとに何の動物かあて合いました。2組はうさぎを作りました。にんじんや月をつけたので、すぐにあてられました。みんなで協力してできたのでよかったです。ナイトワークではお玉の上にキャンドルをのせて火がきえないように、往復するゲームをしました。歩くと風がきてすぐに火がきえてしまうので、ぼうしで風をふせいでゆっくり歩くと上手いききました。みんなで集中してがんばりました。

2日目は、ハイキングで山中城跡に行きました。とても長いきよりでつかれました。でも、ついたらみんなでおにごっこをしました。とても広いところでした。つかれていたけれどすごく楽しかったです。カブ隊のみんなでとまるのは最後でした。とても楽しい思い出になりました。





上進章訓練

富士地区 富士第 11 団 ポーイ隊 望月 悠伍

月の輪スカウトの上進訓練がありました。僕はこの訓練の手伝いをすると聞いたとき、何をするか分からなかったです。それは今年度から始まったことで、僕がカブ隊の時にはありませんでした。上進章訓練とは、カブ隊のくまスカウトがボーイに上進するための準備などを行うことです。僕たち富士 11 団はスカウトハウスで行いました。

始めに自己紹介をしました。新しくクマからカブ隊に入隊した子がいたからです。名前をしっかりと覚えて親しくなって話をする目的もあります。次にボーイ隊のことをいろいろ話してあげました。スカウトのおきてや章について教えました。ロープでは基本的なことはほぼ完璧にできていたのでワンステップ上を目指して欲しいです。国旗の掲揚や降納もやりました。今度カブスカウトの子達がボーイ隊に上進してくるのを僕はとても楽しみです。



自分の目標としている班

島田地区 御前崎第 1 団 ポーイ隊 塚本 和起

僕は、自分の班をどういう風にしたいという目標があります。そして、それは、自分がボーイスカウトに上がってすぐのことと少し関係していると思います。

僕がカブスカウトからボーイスカウトに上がってすぐにキャンプがありました。その夜の晩ご飯の後、みんなと話をする機会があったのでその時に友達の話聞いていたとき、その友達が、普通に話せずかんでしまったことを自分がからかってしまって少し



ケンカのようになっていました。

その友達には、その日の内に謝りましたが、自分はその事がすごく心残りで、これからはきちんと行動しようと思いました。きちんと行動するというのはどういう事かという、こういうことにならないように注意して行動すると同時に、他人にもそういう思いをさせないように注意をして、自分の班をみんなと一緒に支えられるようにしたいです。

今までとは違うスケート

浜松地区 浜松第 14 団 ポーイ隊 鈴木 颯太

今年も二月に毎年こう例のビーバー、カブ、ボーイで行われたスケートに行きました。

毎年今までは、スケートをやっている二時間くらいの間でほとんど楽しい滑りはできずつまらなくなって「ちえっ」というような感じでやり過ぎていましたが、ここ近年まだ運動音痴というのもあるので人並み程も滑れないのですが、リンクの壁につかまらず滑らかに滑るくらいのは出来ようにはなりました。

昔、カブの時は壁ありでさえもリンクを一周するのに十分近くも時間を要してたりしたのでいつもスケートの活動は特に嫌いでした。しかし、ずっとスケートをしているうちに、まともに滑れる状態はなってきたので、今までとは違ってきたのでスケートは楽しいと思うようになり、今年のスケートにも快く出席しスケートの時間を満喫することができて、今まで続けて良かったと思いました。なので、リンクがある期間は怪我をしないよう自分の趣味としてもスケートをやりたいと思います。





老人ホーム慰問

清水地区 清水第 8 団 ベンチャー隊 武田 侑真

清水第 8 団は、毎年 12 月に老人ホーム「松風荘」に慰問にいき、午前には餅つき、午後はクリスマス会として、老人と楽しい 1 日を過ごしています。

今年は、朝 8 時半にボーイとベンチャーとリーダー団委員で、餅つきの準備としてかまどで、餅米 8 升をむして、餅つきをしましたが、餅米がなかなかむせずに時間がかかったが、みんなで交換で餅つきをしました。途中ホームの元気な老人もつ



教えるということ

磐田地区 磐田第 3 団 ベンチャー隊 太田 翔

先日、ハヤブサ章を習得するためのプロジェクト(ジュニアリーダー)の一環として、ボーイ隊に計測(方位・コンパス)の指導を行いました。リーダーに相談し十二支や時刻と方位の関係などを、ゲームを通じ教えるプロジェクトでした。ベンチャーになり、ボーイ隊に



いて、11 時ごろには、8 升ができました。つき終わってから、午後のクリスマス会の出し物の練習で、ベンチャーは、自分の部活動の合気道の型を見せるので、他のベンチャーに指導しながらやりました。

昼食後に、舞台の飾り付けをしましたが、ツリーや表示がうまく付けられませんでした。

クリスマス会の開始時は、ホームへの餅の贈呈式から始まり、リーダースタンツ・カブボーイの歌、その次がベンチャーの出し物で、自分が型の説明しながら演技しましたが、老人は一生懸命見てくれて、良かったです。来年は、もっと楽しんでもらえるような出し物がやれたらいいなと思いました。

教えるのはこれが初めてではなかったのですが、改めて教えることの難しさというものを実感しました。班長とはまた違う感じで新鮮でしたが、慣れていないだけに教える立場としてのプレッシャーもありました。けれど教えている内にいつの間にか自分まで楽しんで教えているのに気が付きました。やはり、自分はボーイスカウトが大好きなのだと思う瞬間でした。このプロジェクトは、今まで教えてもらう立場だったのを教える立場へと少しずつ変わっていることに気が付かせくれるプロジェクトとなりました。ベンチャースカウトとして今年最後の年です。四月から新しくベンチャースカウトに上がってくる後輩に、ベンチャーの楽しさや人に教える楽しさを教えていきたいと同時に最後までまっすぐな背中を見せていける先輩でありたいと思います。



指導者だより

繋ぐ

御殿場/小山地区 副コミッショナー 田山 達朗

平成27年度より御殿場・小山地区副コミッショナーの役務をいただき、地区委員長並びに地区コミッショナー、諸先輩方の御指導のもと地区行事等に奉仕させていただきます。

そのような中、昨年末、地区委員会において許可をいただき、平成28年1月1日より御殿場・小山地区 Facebook ページを開設し地区行事や地区内団活動を発信しています。地域への繋がりを更に強固にし、地域に根ざすスカウト運動へ繋げていきたいと思ひます。

また、非公開グループでの御殿場・小山地区 Facebook ページも開設し、地区内関係者限定の閲覧・書き込みの場を設け、活動のヒント、プチ活動自慢からヒヤリとした場面、その他参考となる事項を情報共有する事にしました。

まずは Facebook というツールをきっかけに、基本的な考え方を共通理解しラウンドテーブルを盛り上げ、運営や活動のベクトルを適正な方向に結集していければと考えています。御殿場・小山地区 Facebook ページの閲覧、コメントお待ちしております。



月の輪スカウト活動中

沼津地区 沼津第4団カブ隊 隊長 渡辺 迅

ボーイスカウト沼津第4団「月の輪」の紹介をします。今年度は井口月の輪リーダーを中心に年初から本格的にスタート。カブ隊からボーイ隊へ、この時期だけの冒険心の満足と、「スカウト章」等の基本が身体にしっかりと入るよう工夫しながら取り組みます。事前に課題を渡し、家庭での予習と集会での実践を組み合わせで行います。基本については、「スカウト章」を



自分で描きながら、各部分の意味を覚えました。それからスカウト技能。特にロープワークは、手作りのロープワークカードを使い、競いながらのなわ結びゲームなどで遊びの要素も入れながらおさらいをしています。仲間同士の実践は、やっぱり飯! ということで、たちかまどを作った炊飯もしました。崩れそうな場所を自発的に補強するスカウトの姿にリーダーがワクワクしながら見守ります。最後には、みんなで井口月の輪リーダーが前の日からじっくり煮込んだカレーを頬張ることが出来ました。沼津地区の特別な一泊キャンプなどにも参加させていただき、憧れのボーイスカウトに向かって、月の輪スカウト元気に活動中です。



平成27年度 日本連盟トレーナー 研究集会在開催されました

県連指導者養成委員会

平成28年2月7日(日)静岡県青少年会館において、日本連盟副ディレクター 渡辺和男氏を講師に迎えてのトレーナー研究集会在開催され、県外からの参加者も含め36名のトレーナーが出席しました。

<参加者>

静岡県連盟 リーダートレーナー10名 副リーダートレーナー20名
群馬県連盟 リーダートレーナー 1名 東京連盟 副リーダートレーナー 2名
愛知連盟 リーダートレーナー 1名 副リーダートレーナー 2名

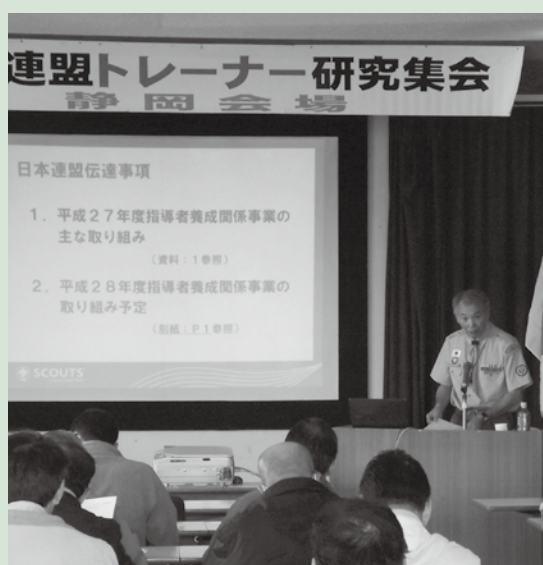
<内 容>

日本連盟伝達事項

指導者訓練の評価と改正点

研修1:「ウッドバッジ実修所
第1教程の支援」

研修2:「トレーナーの
業務評価」





おめでとう!! 29 名の仲間が友情章を授与されました。

「友情章」は、君の友達に「スカウトになろうよ!」と言って、
友達がスカウトに入るともらえる章です。

記念品はネームプレートがもらえるよ。次は君が友達を紹介して「友情章」をゲットしよう!

組織拡充委員会

平成 28 年 3 月度「友情章」顕彰者名簿

氏名	地区	所属	氏名	地区	所属
小谷 武蔵	富士	富士第2団 BVS	渡辺 大地	島田	島田第2団 B S
伊藤 蓮	浜北・天竜	天竜第1団 CS	牧之段 葵	島田	島田第2団 B S
宮内 優介	沼駿	沼津第19団 B S	池谷 仁美	静岡	静岡第27団 CS
竹下 空	沼駿	沼津第19団 CS	渡辺 昊	静岡	静岡第27団 CS
桑名 寿太	沼駿	沼津第19団 CS	酒井 龍之介	清水	清水第8団 CS
HEREN PARMENTER	沼駿	沼津第19団 CS	平尾 泰雅	清水	清水第8団 CS
岩澤 瑞月	沼駿	沼津第19団 BVS	安井 幹弥	島田	相良第1団 BVS
田中 結	磐田	豊田第1団 BVS	中根 凜香	島田	相良第1団 BVS
井上 奈南	磐田	豊田第1団 BVS	水流 彩迦	島田	相良第1団 CS
井上 弓奈	磐田	豊田第1団 BVS	水流 緋音	島田	相良第1団 B S
大石 みお	沼駿	沼津第1団 CS	山本 裕子	島田	相良第1団 CS
大村 愛海	沼駿	沼津第1団 CS	山本 千晴	島田	相良第1団 CS
福島 梨依	志太	大井川第3団 BVS	菊地 檜	島田	相良第1団 CS
相良 花音	志太	大井川第3団 CS	波多野 陽太	島田	相良第1団 CS
河守 優花	志太	大井川第3団 CS			

「障がい児スカウティング研究集会」報告

特別支援スカウティングチーム 鈴木 均

本年度も研究集会を開催することが出来ました。テーマは「障がい児のスカウトの進歩について」でした。またアンケートの依頼を行いその結果も報告させて頂きました。

障がいを持ったスカウトの進歩状況はその個人の特性によりさまざまですが、得意なものを見つけ、またスカウト自身の中で成長が見られたら評価するといった工夫がされているようです。特にボーイ隊では班長や班員が障がいを持ったスカウトの進歩を支援しており、また支援したスカウトにとっても良い経験になっているといった報告もありました。上進についてはビーバーからカブへの上進はスムーズなのですが、ボーイに上進する時にはスカウトが悩むケースもあるようです。ベンチャーについては個人の自発活動が中心となることから適切な指導ができるか不安を感じるリーダーもいましたが、ベンチャーはスカウト個人の伸びを見る所なのでリーダーがその部分を理解していれば逆にやりやすいのではという意見もありました。あとビーバー・カブでは活動が円滑に進められるよう個別に対応するリーダーを置いていたり保護者の同伴を求めている隊の多いことがわかりました。

今年は8月12日～16日にかけて富士宮の富士山麓山の村で第12回日本アグーナリー(国際障がいスカウトキャンプ大会)が行われます。是非スカウトだけでなく指導者の皆様の参加ご協力をお願い致します。障がい

をお持ちのスカウトのみでなく健常なスカウト・指導者の皆様の参加をお願い致します。



びっくりポンでした。

県連盟プログラム委員兼県連盟副コミッショナー 池ヶ谷充寛



「他県に学ぶボーイスカウトのあり方 テーマ:RS (VS含む)の活動には?」と題し、愛知連盟副コミッショナー兼日本連盟プログラム委員の中村友一氏を招き、県下コミッショナー、および、県連盟プログラム委員会の中から有意識者18名に

参加いただき座談会を開催しました。

愛知連盟の活動内容の話に続いて、現状を知るべく、どんな活動なのか、そして、そうなるためにこれまでどのような取組をしてきたのか、そして、今後はどのように進もうとしているのかを、へーそーなんだ、なぜ・なぜそうなるの、どのようにやっているの、そうなるまでにBVS、CS、BSではどんな仕掛けをしているの、などなど疑問の問いかけから、発見や驚きのことばかりであったという間の2時間でした。

特に、富士章を取得したローバースカウト達が主体となりローバース会議を通して企画から運営までを行う大会の実施(カブ・ビーバーラリー:参加者4500人)、そしてローバーアドバイザーは、ローバースカウトが自ら地区、県、日本連盟などから、自分たちの活動に必要な大人を人選。そのために、県連盟は、県連盟コミッショナーの統括の下にローバースカウトによる組織「愛知ローバース会議」があり権限と責任を与え、また、仲間を集めるきっかけの一つとして県連盟事務雑務処理のバイトとしてローバースカウトを雇い、それらローバースカウトの活動場は地区であり県連であることを隊の指導者の理解を得るため県連盟独自でRS課程研修所の開催や、今では、ローバー特別セミナーと題し隊指導者への研修を実施している。そして、保護者や社会の理解を得るため、ローバースカウトだけを対象とした企業との懇談会(就活)。当然ながら、突然仲間ができるわけではないのでCSになると地区で月の輪集會、BSではGB訓練など小さい年代から仲間づくりを意識した地区、県連単位での活動を展開している。そうした活動が少なくとも約20年前から愛知連盟では常識としていることを知ることができた。

このような他県の活動内容について実際聞くことの重要性を実感すると共に、小さくまとまってガラパゴス化するのではなく、成人指導者こそこの活動の特徴であるグローバルに活動を広げていく事が大事ではないかと痛感した。そして、同じボーイスカウト活動なのになぜこんなに差が出てしまったのか、スカウト達に申し訳ない気持ちが残った。

この会で出てきたことを県連、地区等でどのように進めていけばよいのか、県連盟コミッショナー、プログラム委員会委員長をはじめ委員会メンバーと今後議論を行い、Step by Stepでの取組を県連盟に提言をしていきたい。

愛知連盟のHP(URL)
<http://www.scout.aichi.jp/>



おしらせコーナー

県連 Facebook を開設しました!

「ボーイスカウトは、楽しくて元気な活動をあっちの街・こっちの街でやっていることを、もっとたくさんの人に知ってもらおう」と、平成 28 年 2 月から静岡県連盟の Facebook を始めました。

地区や団の Facebook に投稿された楽しい活動の様子をどしどし紹介していきますから、是非アクセスしてみてください。

(管理責任：広報委員会)



<https://www.facebook.com/ShizuokaScoutCouncil>

ボーイスカウトへのお問い合わせ・入隊希望は

ボーイスカウト静岡県連盟事務局 (☎ 054-255-6185) まで

ホームページもご覧ください。http://bs-shizuoka.com

編集日記

平成 28 年度がスタートします。スカウト活動の楽しさ・魅力を、広報誌「たちばな」・「県連ホームページ」そして新設の「県連 Facebook」で積極的に PR していきます。

「たちばな」チーム一同

広報「たちばな」2016 年 4 月

発行所 一般社団法人 日本ボーイスカウト静岡県連盟
〒420-0068 静岡県静岡市葵区田町 1-70-1
県青少年会館内
TEL054-255-6185 FAX054-255-6186
http://bs-shizuoka.com

編集責任者 広報委員長 松田 茂

印刷 三富印刷株式会社
静岡県浜松市東区上新屋町 30-1 TEL053-467-4678

発行部数 5,387 部